

## 「2017年3月期第1四半期 決算説明会」主な質疑応答（要旨）

### ■国際線について

Q1：単価の変動で為替・純単価等は前年対比で3%上昇したが、要因の詳細は？  
これは計画通りなのか？

A1：単価については前年対比で7.0%下落いたしました。燃料サーチャージの減収により単価が約10%下落したことを考慮すると、燃料サーチャージを除いた単価は約3%上昇したものと試算しており、概ね計画通りの単価向上が図られております。

Q2：国際旅客収入のうち旅客数要因が20億円減少と未達になった要因は？

A2：東南アジア線を中心に海外発需要は堅調に推移しましたが、日本発需要は前年を下回った為です。

### ■営業利益増減について

Q3：収入面で前年対比148億円の下振れ要因のうち、為替の影響額はいくらか？

A3：収入面での為替影響は円高影響で37億円減少となりました。

Q4：整備費・人件費が増加した要因は？

A4：整備費はエンジン整備が増え前年対比26億円増加、人件費は成長基盤強化のための人財への重点投資などにより前年対比63億円増加しました。

### ■今後の収支改善策

Q5：計画達成に向けた今後の取り組みは？

A5：国際旅客では臨時便の設定や、国内旅客では高需要路線での機材の大型化などにより増収を図り、費用面では委託業務費の見直しを始め、部門別の採算管理を徹底し幅広い分野に渡り、コスト削減に努めることにより、営業利益目標を達成する所存です。